



感染力の強い変異型ウイルスへの対策について

2021/08/16

千葉学芸高等学校

新型コロナウイルス感染症対策本部

新型コロナウイルス感染症で感染力の強いデルタ株変異型ウイルスが大流行を始めました。変異型ウイルスに対して、従来の「3つの密の重なりを避ける」という感染防止対策では不十分であり「1つの密も避ける」という必要があることがわかっています。

たとえば、屋外飲食のような3密ではない状況でもクラスターが発生しています。

変異型ウイルスに対抗するために、下記の事項に留意して対策を行ってください。

(1) 生徒や教職員に発熱等の風邪の症状がある場合等には登校・出勤しないこと。

(2) マスクを正しく着用すること（隙間なく縁が顔に密着するように）

○マスクの防御力には限界があるので過信しないこと。

○マスクを外す場合は屋内でも屋外でも飛沫が飛ばない対人距離を確保すること

従来は換気の良い場所ではマスクを外しても感染は回避できましたが、変異型では、換気に加えて十分なソーシャルディスタンスが必要です。

○対人距離が取れない場合はマスクを着用すること。

マスクなしでの会話や咳で飛沫が飛び感染します。

○熱中症対策でマスクを外す場合は、換気と距離に加え、会話などで飛沫を飛ばさないこと。飛沫が飛ばない距離に逃げること。

(3) 飲食時は近距離感染のリスクがある。

バス電車内の飲食も近距離飛沫のリスクがあります。

(4) 手洗いと手指消毒を頻繁に。

人が居た場所では、その人の飛沫が物品に付着している可能性があります。物品の消毒頻度は頻繁ではないのであまり期待せず、モノに触れたら手洗いや消毒を徹底し、汚れた手で目鼻口に触れないようにすること。